

今、新潟大学で注目されている先端研究を紹介します！

講座の概要

日本海側最大規模の総合大学である新潟大学には、約1,400名の研究者が所属しており、人文社会科学分野、自然科学分野、医歯学分野など広い分野で、多様な研究が行われています。本講座では、新潟大学で行われている先端研究を、初めて学ぶ方にも分かりやすく紹介する講座です。

●日 時 11月30日～12月14日 毎週土曜日 合計3回

11時～12時30分

●会 場 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」講義室A  
(新潟駅南口 プラカ1・2階)

●対 象 一般市民

●募集人数 30人 (申込者が募集人数を超えた場合は抽選)

●受講料 3,300円

※学生(大学生以下)は受講料無料です。

●申込締切日 11月15日(金)

詳しくは産学連携課へご確認の上、お申込みください。



講座の内容

日 程	講 義 題 目	講 義 内 容	講 師
11月30日(土)	10時45分～11時まで開講式を行います。		
11月30日(土) 11時～12時30分	風車と鳥を考える	風力発電については、風車ブレードに鳥が衝突死するバードストライクが頻発し、世界的に大きな問題となっています。本講座では、バードストライクを低減させ風力発電を推進するための取り組みについて、現在進めているプロジェクト研究の成果を交えて紹介します。	自然科学系(農学部) 教授 関島 恒夫
12月 7日(土) 11時～12時30分	耳と聴こえのサイエンス	毎日、何気なく聴いている音。耳はどのような仕組みで音をとらえ、その信号を脳へと伝えているのでしょうか？精密部品からなる小さく不思議な耳の世界やその最新研究について、難聴との関わりを交えながらやさしくご紹介します。	医歯学系(医学部) 教授 日比野 浩
12月14日(土) 11時～12時30分	“蒼き狼”チンギス・ハンの実像～温故知新のモンゴル史研究～	モンゴル帝国の始祖チンギス・ハンは征服者として恐れられた反面、優れた統治者でもありました。本講では考古学で解明された彼の国造りのようすを紹介し、それをヒントに現在の途上国が抱える問題の解決策を考えます。	人文社会科学系 (人文学部) 教授 白石 典之
12月14日(土)	12時30分～12時45分まで閉講式を行います。		